
ありふれてるかもしれない会話

朔架

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ありふれてるかもしれない会話

【Nコード】

N8794L

【作者名】

朔架

【あらすじ】

とりあえず馬鹿な会話をつらつらと。

暇つぶし程度の閲覧がオススメですかね。

(前書き)

どこまでもアホな会話です。
それでもよろしければどうぞ。

「はあ」

「どうした、ため息なんかついて」

「あ。バーゲン ツツ先輩」

「頼むからいい加減それはやめようか。しかも修正にしては微妙すぎるよ」

「最近悩んでることがあって」

「あれ？完全にスルー？」

「なんで学校に行かなきゃいけないんでしょう」

「それは、子供の義務だからだろう」

「誰が決めたんです？そんなの。何世紀何年何月何日何曜日何時何分何秒？地球が何回回った時？」

「お前、その考えは小学生並だぞ」

「あ、先輩」

「ん？お前か」

「お前かって何です？私が話しかけるのは気に食わないとそういいたいんですか？」

「そうじゃねえよ」

「じゃあなんですか？」

「この話やめないか？不毛な気がする」

「そーですねー」

「随分投げやりだな。しかも某番組っぽい」

「あれ？何の話だっけ？」

「もういいよ」

「せんぱい、とりあえずおなかせいたんでなんかおごってください」
「なんで平仮名表記なのか先に聞いていい？」
「さくしゃのきぶん」
「ちょ、それ言ったらダメでしょ」
「きいたのはせんぱい」
「俺が悪かったよ」
「だからなにかおごって」
「だからの意味が分からないよ」
「やきとりがいいな。たれでももにくきぼつ」
「何かじゃなくなってるし」
「とりにくー」

「バーゲン ツツかって」
「お前、俺にたかるのそんなに好きか？」
「うん」
「そういうやつだよな、お前は」
「買ってくれるの？くれないの？」
「誰が買うか！！」
「けち」
「ケチで結構」
「やきとりも買ってくれなかった」
「だから何で俺がお前におごらなきゃいけないんだ！」
「そこにいるから」
「それだけの理由かよ！！」

(後書き)

ども。朔架です。

とことんアホアホな会話を目指してみた結果です。そのうちこんな話をまた書く可能性は高いです。

ちなみにバーゲン ツツ先輩はノンフィクションです。過去にそう呼んでいた先輩がいました。

ちよちよここんなアホな文をアップするんで読んでこいつ馬鹿だなーって思ってくださいな。

今度は頑張つて長いのを書いてみる予定です。

あくまで予定なので期待はしちゃ駄目です(笑)

では、また別の作品で。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8794/>

ありふれてるかもしれない会話

2010年10月17日10時44分発行